

令和2年度 十勝農試 定期作況報告

<http://www.hro.or.jp/list/agricultural/research/tokachi/sakukyo/index.html>

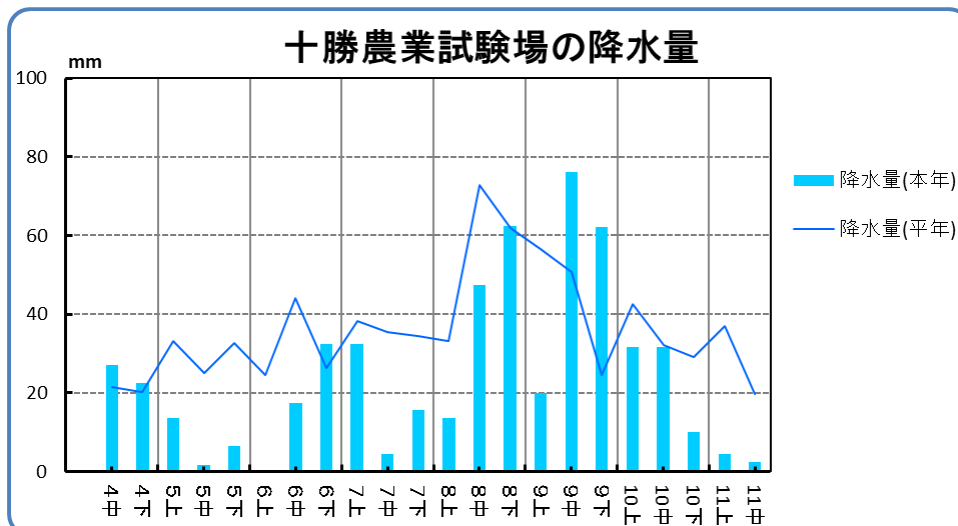
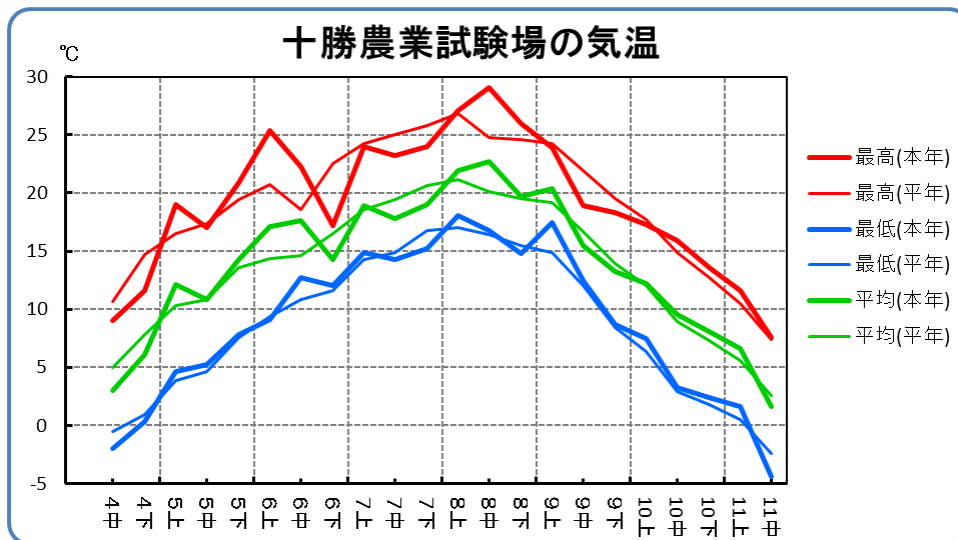
作況概要

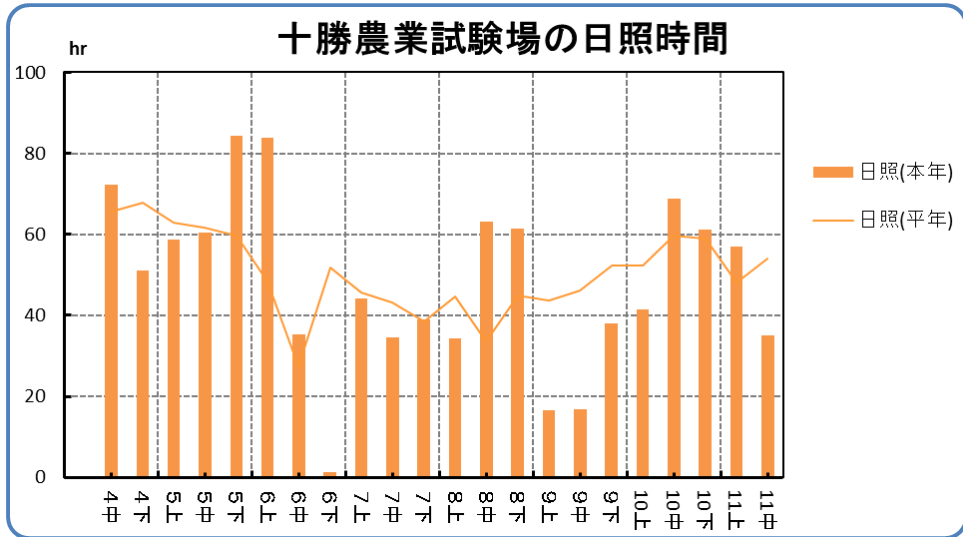
	秋まき小麦	大豆	小豆	菜豆	ばれいしょ	てんさい
5月20日	良	—	—	—	—	やや不良
6月20日	平年並	やや良	やや良	平年並	やや不良	不良
7月20日	平年並	平年並	平年並	平年並	不良	不良
8月20日	やや良	平年並	やや不良	平年並	不良	不良
9月20日	—	やや良	不良	不良	不良	平年並
10月20日	やや良	平年並	不良	—	—	やや不良
11月20日	やや良	不良	不良	不良	不良	やや不良

注1) 当該作況は、十勝農業試験場における各作物の生育調査結果に基づき、平年との比較から収量予測を行うものであり、十勝管内全体の作況を表現しているものではありません。

注2) 秋まき小麦10月は本年播種の作況を示します。

気象経過 ※季節表について、先月までの値に誤りがありましたので、今月発表の表に差し替えてください。





気象表

道総研(十勝農業試験場)

年月	旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
令和元年	9月上旬	20.6	18.8	1.8	26.7	23.3	3.4	15.0	15.1	-0.1	6.5	64.2	-57.7	1	4.5	-3.5	70.6	36.1	34.5
	9月中旬	15.8	16.8	-1.0	19.7	21.8	-2.1	11.8	12.5	-0.7	7.5	56.2	-48.7	3	3.6	-0.6	47.9	43.8	4.1
	9月下旬	14.3	14.1	0.2	21.0	19.1	1.9	7.9	9.4	-1.5	67.0	23.5	43.5	2	3.2	-1.2	73.2	45.7	27.5
10月	10月上旬	13.5	11.9	1.6	18.0	17.4	0.6	9.1	6.8	2.3	66.0	48.5	17.5	4	3.8	0.2	44.9	50.9	-6.0
	10月中旬	8.4	9.2	-0.8	13.8	14.9	-1.1	2.5	3.9	-1.4	69.0	30.0	39.0	4	3.1	0.9	54.1	57.1	-3.0
	10月下旬	9.2	7.3	1.9	14.3	12.5	1.8	4.3	2.4	1.9	21.5	32.0	-10.5	4	2.9	1.1	57.3	57.3	0.0
11月	11月上旬	4.7	5.9	-1.2	9.7	10.6	-0.9	-0.5	1.3	-1.8	2.0	42.7	-40.7	1	3.8	-2.8	72.8	42.7	30.1
	11月中旬	2.1	2.7	-0.6	6.1	7.3	-1.2	-2.0	-1.6	-0.4	43.0	21.8	21.2	6	2.7	3.3	47.8	50.7	-2.9
	11月下旬	-2.1	-0.3	-1.8	3.4	4.1	-0.7	-7.6	-4.8	-2.8	0.0	12.9	-12.9	0	2.9	-2.9	69.8	51.2	18.6
12月	12月上旬	-4.3	-2.6	-1.7	0.0	2.1	-2.1	-9.8	-7.5	-2.3	19.5	32.2	-12.7	2	3.7	-1.7	50.5	47.9	2.6
	12月中旬	-1.9	-5.8	3.9	2.4	-0.4	2.8	-6.6	-11.3	4.7	1.5	12.6	-11.1	1	3.3	-2.3	41.4	49.7	-8.3
	12月下旬	-6.3	-5.9	-0.4	-1.9	-1.2	-0.7	-11.6	-11.7	0.1	7.0	13.8	-6.8	3	3.1	-0.1	58.8	51.9	6.9
令和2年	1月上旬	-6.1	-7.2	1.1	-2.0	-1.8	-0.2	-12.0	-14.5	2.5	5.0	6.8	-1.8	1	1.4	-0.4	61.9	58.7	3.2
	1月中旬	-10.4	-9.9	-0.5	-2.5	-3.4	0.9	-17.3	-18.2	0.9	2.0	6.0	-4.0	1	1.5	-0.5	65.1	61.9	3.2
	1月下旬	-5.3	-8.5	3.2	-0.7	-2.4	1.7	-11.1	-16.6	5.5	35.0	10.8	24.2	2	2.1	-0.1	59.4	66.4	-7.0
2月	2月上旬	-10.2	-8.6	-1.6	-4.4	-2.9	-1.5	-18.7	-16.1	-2.6	9.5	7.6	1.9	1	1.8	-0.8	63.3	63.2	0.1
	2月中旬	-4.1	-7.1	3.0	1.8	-1.3	3.1	-10.2	-14.9	4.7	21.5	8.8	12.7	3	1.6	1.4	57.0	60.9	-3.9
	2月下旬	-5.4	-6.1	0.7	0.4	0.0	0.4	-12.7	-14.0	1.3	12.0	11.0	1.0	2	2.1	-0.1	63.0	59.1	3.9
3月	3月上旬	-3.2	-3.3	0.1	1.3	1.6	-0.3	-8.9	-9.6	0.7	72.0	34.2	37.8	6	2.9	3.1	42.5	62.5	-20.0
	3月中旬	-0.6	-1.3	0.7	5.2	3.7	1.5	-6.9	-7.4	0.5	5.5	6.7	-1.2	2	1.8	0.2	77.8	69.7	8.1
	3月下旬	3.4	0.3	3.1	8.4	5.7	2.7	-1.4	-5.7	4.3	0.0	9.4	-9.4	0	2.6	-2.6	101.2	84.8	16.4
4月	4月上旬	4.3	3.3	1.0	9.0	8.8	0.2	-0.3	-2.3	2.0	43.0	22.7	20.3	6	2.4	3.6	45.2	67.4	-22.2
	4月中旬	3.0	5.0	-2.0	9.0	10.7	-1.7	-2.0	-0.5	-1.5	27.0	21.5	5.5	3	3.5	-0.5	72.2	65.7	6.5
	4月下旬	6.1	7.8	-1.7	11.6	14.7	-3.1	0.3	0.9	-0.6	22.5	20.1	2.4	5	3.2	1.8	51.0	67.7	-16.7
5月	5月上旬	12.1	10.3	1.8	19.0	16.5	2.5	4.6	3.9	0.7	13.5	33.1	-19.6	4	3.1	0.9	58.8	62.8	-4.0
	5月中旬	10.8	10.8	0.0	17.0	17.4	-0.4	5.2	4.6	0.6	1.5	25.1	-23.6	2	3.5	-1.5	60.5	61.7	-1.2
	5月下旬	14.3	13.6	0.7	20.9	20.5	0.4	7.8	7.2	0.6	6.5	22.7	-16.2	2	3.2	-1.2	84.3	73.5	10.8
6月	6月上旬	17.1	14.4	2.7	25.4	21.3	4.1	9.1	8.9	0.2	0.0	27.5	-27.5	0	3.3	-3.3	83.9	57.0	26.9
	6月中旬	17.6	14.6	3.0	22.3	19.7	2.6	12.7	10.7	2.0	17.5	38.8	-21.3	4	3.6	0.4	35.4	35.8	-0.4
	6月下旬	14.3	16.5	-2.2	17.2	22.5	-5.3	12.0	11.6	0.4	32.5	26.2	6.3	7	3.3	3.7	1.3	51.7	-50.4
7月	7月上旬	18.9	18.6	0.3	24.0	24.3	-0.3	14.9	14.3	0.6	32.5	38.2	-5.7	5	3.5	1.5	44.1	45.7	-1.6
	7月中旬	17.8	19.4	-1.6	23.2	25.0	-1.8	14.3	14.9	-0.6	4.5	35.4	-30.9	3	3.4	-0.4	34.5	43.2	-8.7
	7月下旬	19.0	20.6	-1.6	24.0	25.8	-1.8	15.2	16.8	-1.6	15.5	34.3	-18.8	3	4.1	-1.1	39.0	38.5	0.5
8月	8月上旬	21.9	21.2	0.7	27.1	26.8	0.3	18.1	17.0	1.1	13.5	33.2	-19.7	4	3.5	0.5	34.4	44.7	-10.3
	8月中旬	22.7	20.1	2.6	29.1	24.8	4.3	16.8	16.4	0.4	47.5	72.9	-25.4	3	5.2	-2.2	63.2	33.6	29.6
	8月下旬	19.7	19.5	0.2	26.0	24.6	1.4	14.8	15.5	-0.7	62.5	61.8	0.7	4	5.0	-1.0	61.4	44.8	16.6
9月	9月上旬	20.4	19.2	1.2	23.9	24.3	-0.4	17.5	14.9	2.6	20.0	56.5	-36.5	8	4.3	3.7	16.6	43.7	-27.1
	9月中旬	15.5	16.7	-1.2	18.9	21.9	-3.0	12.5	12.0	0.5	76.0	50.8	25.2	8	3.7	4.3	16.7	46.1	-29.4
	9月下旬	13.2	13.9	-0.7	18.3	19.5	-1.2	8.7	8.4	0.3	62.0	24.6	37.4	5	3.2	1.8	38.0	52.3	-14.3
10月	10月上旬	12.2	12.0	0.2	17.3	17.7	-0.4	7.5	6.4	1.1	31.5	42.5	-11.0	4	3.7	0.3	41.4	52.3	-10.9
	10月中旬	9.5	8.9	0.6	15.9	14.9	1.0	3.3	2.9	0.4	31.5	32.1	-0.6	3	3.3	-0.3	68.7	59.6	9.1
	10月下旬	8.1	7.3	0.8	13.6	12.7	0.9	2.4	1.8	0.6	10.0	29.1	-19.1	4	3.2	0.8	61.2	59.0	2.2
11月	11月上旬	6.6	5.6	1.0	11.6	10.5	1.1	1.6	0.5	1.1	4.5	36.9	-32.4	1	3.2	-2.2	56.9	48.1	8.8
	11月中旬	3.4	2.6	0.8	8.9	7.4	1.5	-1.9	-2.4	0.5	14.0	19.6	-5.6	3	2.9	0.1	51.1	54.0	-2.9

注) 令和元年12月まで: 十勝農試マメダスデータ、令和2年1月から: 芽室 AMeDAS データ

令和元年

- 9月 平均気温は上旬が高く、中旬がやや低かった。降水量は上旬がかなり少なく、中旬が少なく、下旬が多かった。日照時間は上旬、下旬がかなり多かった。
- 10月 平均気温は上旬、下旬が高く、中旬がやや低かった。降水量は上中旬が多く、下旬が少なかった。日照時間は上旬が少なかった。
- 11月 平均気温は上中旬が高かった。降水量は上旬、下旬が少なく、中旬が多かった。日照時間は上旬、下旬かなり多かった。
- 12月 平均気温は上旬がやや低く、下旬が高かった。降水量は上中旬が少なく、下旬がやや少なかった。日照時間は中旬がやや少なく、下旬がやや多かった。

令和2年

- 1月 平均気温は上旬が高く、下旬がかなり高かった。降水量は下旬が多かった。日照時間は下旬が少なかった。
- 2月 平均気温は上旬が低く、中旬がかなり高く、下旬がやや高かった。降水量は中旬が多かった。日照時間は平年並であった。
- 3月 平均気温は中旬がやや高く、下旬がかなり高かった。降水量は上旬が多く、下旬がやや少なかった。日照時間は上旬がかなり少なく、中下旬が多かった。
- 4月 平均気温は上旬がやや高く、中下旬が低かった。降水量は上旬が多く、中旬がやや多かった。日照時間は上旬がかなり少なく、下旬が少なかった。
- 5月上旬 平均気温は高く、降水量は少なかった。日照時間は平年並であった。
- 5月中旬 平均気温は平年並で、降水量は少なかった。日照時間は平年並であった。
- 5月下旬 平均気温はやや高く、降水量は少なかった。日照時間はやや多かった。
- 6月上旬 平均気温は高く、降水は記録されなかった。日照時間はかなり多かった。
- 6月中旬 平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間は平年並であった。
- 6月下旬 平均気温は低く、降水量ややは多かった。日照時間はかなり少なかった。
- 7月上旬 平均気温は平年並で、降水量はやや少なかった。日照時間は平年並であった。
- 7月中旬 平均気温は低く、降水量は少なかった。日照時間は少なかった。
- 7月下旬 平均気温は低く、降水量は少なかった。日照時間は平年並であった。
- 8月上旬 平均気温はやや高く、降水量は平年より少なかった。日照時間は少なかった。
- 8月中旬 平均気温は高く、降水量は少なかった。日照時間はかなり多かった。
- 8月下旬 平均気温は平年並で、降水量も平年並であった。日照時間はかなり多かった。
- 9月上旬 平均気温は高く、降水量は少なかった。日照時間はかなり少なかった。
- 9月中旬 平均気温は低く、降水量は多かった。日照時間はかなり少なかった。
- 9月下旬 平均気温はやや低く、降水量は多かった。日照時間は少なかった。
- 10月上旬 平均気温は平年並で、降水量は少なかった。日照時間は少なかった。
- 10月中旬 平均気温はやや高く、降水量は平年並であった。日照時間はやや多かった。
- 10月下旬 平均気温は高く、降水量は少なかった。日照時間は平年並であった。
- 11月上旬 平均気温はやや高く、降水量は少なかった。日照時間はやや多かった。
- 11月中旬 平均気温はやや高く、降水量はやや少なかった。日照時間は平年並であった。

本年の農耕期間（5月上旬から9月下旬）の気象経過

平均気温は、平年に比べて、5月上旬、6月上～中旬、8月中旬、および9月上旬が高かった。一方、6月下旬、7月中～下旬、9月下旬は低く経過した。その他は概ね平年並に経過した。この期間の平均気温の積算値は平年より52.1℃高い2,604.2℃となり、平年比102%であった。

降水量は、平年に比べて、9月中～下旬で多く、5月～6月中旬、7月中旬～8月中旬、および9月上旬で少なかった。この期間の降水量の積算値は平年より179.3mm少ない405.5mmとなり、平年比69%であった。

日照時間は、平年に比べて、6月上旬、および8月中～下旬が多かった。一方、6月下旬、7月中旬、8月上旬、および9月は少なかった。その他は概ね平年並に経過した。この期間の日照時間の積算値は平年より64.1時間少ない672.1時間となり、平年比91%であった。

以上から、本年の農耕期間（5月上旬から9月下旬）の気象は、5月下～6月中旬の高温・少雨・多照、6月下旬の低温・寡照、7月中下旬の低温・小雨、8月中旬の高温・多照、および9月の寡照が特徴的であった。積算の平均気温は平年並で、降水量は少なく、日照時間は概ね平年並であった。

農耕期間の積算値 芽室AMeDAS

項目		平均気温	最高気温	最低気温	降水量	降水日数	日照時間
期間		(°C)			(mm)	(日)	(hr)
4月中旬	本年	3067.5	4236.7	2012.5	532.5	82	1023.5
	10年平均	3025.1	4245.5	1935.4	768.3	76.0	1089.0
11月上旬	比較	42.4	△ 8.8	77.1	△ 235.8	6.0	△ 65.5
5月上旬	本年	2604.2	3432.5	1878.2	405.5	62	672.1
	10年平均	2552.1	3420.4	1813.4	584.8	55.9	736.2
9月下旬	比較	52.1	12.1	64.8	△ 179.3	6.1	△ 64.1

季節調査について

令和元年の根雪始は平年より10日早く、令和2年の根雪終は平年より13日早かったことから、積雪期間は平年より6日短い120日間であった。晩霜は平年より3日遅く、初霜は平年より6日遅かったことから、無霜期間は平年より3日長い161日間であった。降雪始は、平年より5日遅い11月9日であった。

季節表(十勝農業試験場)

年次	初霜 (年.月.日)	根雪始 (年.月.日)	根雪終 (年.月.日)	積雪期間 (日)	降雪終 (年.月.日)	耕鋤始 (年.月.日)	晩霜 (年.月.日)	初霜 (年.月.日)	無霜期間 (日)	降雪始 (年.月.日)
本年	R1.10.14	R1.11.23	R2.3.22	120	R2.4.27	R2.4.15	R2.5.8	R2.10.16	161	R2.11.9
平年	10.10	12.3	4.4	126	4.21	4.16	5.5	10.10	158	11.4
比較	4	△ 10	△ 13	△ 6	6	△ 1	3	6	3	5

注1) 各季節表項目は、令和2年11月20日現在の十勝農試での観測による。

注2) 積雪期間の平年値は、10年間の単純平均(閏年を含む)であるため、根雪始・根雪終の平年値から算出される値とは一致しない。

令和2年度 十勝農試定期作況報告 秋まき小麦

月	作況	事由
10月20日	やや不良	播種期、出芽期はともに平年より1日早かった。草丈は平年より長く、葉数、茎数はともに少ない。以上のことから、現在の作況はやや不良である。
5月20日	良	根雪終日は平年より13日早く、雪腐病の発生はわずかで、越冬状況は良好であった。起生期は平年より9日早く、起生期の茎数は平年より多かった。起生期以降の天候は概ね順調に推移したため生育は旺盛となったが、5月中旬の干ばつにより草丈は抑制された。このため平年に比べて草丈はほぼ平年並で、茎数は多い。以上のことから、現在の作況は良である。
6月20日	平年並	5月下旬から6月中旬まで平年より降水量が少なく、干ばつ傾向で推移したため、分けつの淘汰が進んだ。出穂期は平年より1日遅く、草丈、茎数はほぼ平年並である。以上のことから、現在の作況は平年並である。
7月20日	平年並	稈長は平年よりやや短い、穂長は平年よりやや長く、穂数は平年並である。以上のことから、現在の作況は平年並である。
8月20日	やや良	6月上旬が高温・少雨に経過したことから開花は良好で、粒数は確保できた。一方、6月下旬と7月中旬が低温・寡照に経過したため、登熟は不良となった。このためリットル重、千粒重は平年より小さく、2.2mm篩上率もやや低いが、子実重は平年比108%と多収であった。以上のことから、現在の作況はやや良である。
11月20日	やや良	播種期、出芽期はともに平年より1日早く、越冬前の茎数は平年より少なかったが、必要な生育量は確保した。雪腐病の発生はわずかで、越冬状況は良好であった。起生期以降の生育は順調であったが、5月中旬から6月中旬は干ばつ傾向となったため、生育量はほぼ平年並となった。出穂期は平年より1日遅い6月4日で、開花状況は良好であった。6月下旬と7月中旬は低温・寡照に経過し、登熟は不良となった。このためリットル重、千粒重は平年より小さく、2.2mm篩上率もやや低かった。一方、開花状況が良好で粒数は確保できたことから、子実重は平年比108%と多収であった。検査等級は1等であった。以上のことから、本年の作況はやや良である。

生育データ

品種名	きたほなみ			
	項目/年次	本年	平年	比較
播種期(月日)		9.20	9.21	△ 1
出芽期(月日)		9.27	9.28	△ 1
起生期(月日)		3.27	4.5	△ 9
出穂期(月日)		6.4	6.3	1
成熟期(月日)		7.21	7.24	△ 3
葉数(枚)	10月20日	3.4	3.6	△ 0.2
	11月15日	5.4	5.6	△ 0.2
草丈(cm)	10月20日	22.4	21.3	1.1
	5月20日	45.0	47.1	△ 2.1
	6月20日	84.7	87.6	△ 2.9
茎数(本/m ²)	10月20日	427	538	△ 111
	11月15日	1,165	1,402	△ 237
	起生期	1,901	1,773	128
	5月20日	2,171	1,175	996
成熟期	稈長(cm)	74.0	79.8	△ 5.8
	穂長(cm)	9.2	8.5	0.7
	穂数(本/m ²)	667	665	2
子実重(kg/10a)	761	703	58	
同上対平年比(%)	108	100	8	
リットル重(g)	800	836	△ 36	
2.2mm篩上率(%)	93.1	94.6	△ 1.5	
千粒重(g)	37.3	41.1	△ 3.8	
検査等級	1	2上	-	

備考1) 平年値は前7か年中、平成29年収穫(豊作年)、28年収穫(凶作年)を除く5年平均。年次は収穫年。

備考2) △は平年より早、少、短を表す。

耕種概要

一区面積(m ²)	区制	前作物	畦幅(cm)	播種日(月日)	播種量(粒/m ²)	
9.6	4	緑肥トウモロコシ	30	9.20	255	
肥料名	施用量(kg/10a)	要素量(kg/10a)				備考
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	
S502	80	4	16	9.6	4	基肥
硫安	38	8				追肥(4/7)
硫安	19	4				追肥(5/21)

令和2年度 十勝農試 定期作況報告 大豆

月	作況	事由
6月20日	やや良	播種期は平年より1日早い5月20日であった。播種後は好天に恵まれ、出芽期は平年より1日早く、出芽率は平年並であった。6月上～中旬に気温が高く経過したことから、主茎長、主茎節数ともに平年をやや上回っている。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
7月20日	平年並	6月下旬と7月中旬の低温寡照により、生育はやや停滞した。開花始は平年より5日早く、主茎長は平年をやや上回っているが、主茎節数と分枝数は平年並である。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
8月20日	平年並	7月下旬～8月上旬が干ばつ気味に推移し生育は停滞したが、8月以降気温が平年並から高く推移したため、着莢は順調に進んだ。主茎長と主茎節数は平年を下回っているが、分枝数は平年並であり、着莢数は平年をやや上回っている。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
9月20日	やや良	8月中旬～下旬は日照時間が多く、気温が平年並から高かったことから、着莢は確保された。9月以降の日照時間がかなり少なく、さらに中旬は低温・多雨に経過したことから、登熟は緩慢になっており、成熟期は平年より遅れることが見込まれる。主茎長と主茎節数は平年を下回っているが、分枝数は平年よりやや多く、着莢数は平年を上回っている。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
10月20日	平年並	成熟期は平年より6日遅かった。一莢内粒数は平年より少ないが、着莢数が多く、百粒重が重かったため、子実重は平年対比114%となった。カビ粒が発生し、屑粒率は平年に比べてかなり高い。カメムシ等による虫害粒も発生している。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
11月20日	不良	播種期は平年より1日早かった。播種後は好天に恵まれ、出芽期は平年より1日早く、出芽率は平年並であった。6月上～中旬に気温が高く経過したことから、開花始は平年より5日早かった。8月中～下旬は日照時間が多く、8月以降気温が平年並から高く推移したことから、着莢は確保された。9月以降の日照時間がかなり少なく、さらに中旬は低温・多雨に経過したことから、成熟期は平年より6日遅かった。一莢内粒数は少ないが、着莢数が多く、百粒重が重かったため、子実重は平年対比114%となった。しかし、カビ粒が発生し、屑粒率は平年に比べてかなり高かった。検査等級はカメムシによる虫害の発生や、裂皮、未熟のため“規格外”となり、平年を大きく下回った。 以上のことから、本年の作況は不良である。

生育データ

品種名		ユキホマレ		
項目/年次	本年	平年	比較	
播種期(月日)	5.20	5.21	△1	
出芽期(月日)	5.31	6.1	△1	
出芽率(%) ³⁾	93.0	92.7	0.3	
開花始(月日)	7.10	7.15	△5	
成熟期(月日)	9.29	9.23	6	
主茎長 (cm)	6月20日	15.3	11.2	4.1
	7月20日	63.5	60.5	3.0
	8月20日	68.1	76.4	△8.3
	9月20日	67.2	76.3	△9.1
	成熟期	67.2	75.2	△8.0
主茎節数 (節)	6月20日	3.7	2.8	0.9
	7月20日	10.0	10.2	△0.2
	8月20日	10.2	11.1	△0.9
	9月20日	10.2	11.1	△0.9
	成熟期	10.2	10.9	△0.7
分枝数 (本/株)	7月20日	4.6	4.5	0.1
	8月20日	5.2	5.5	△0.3
	9月20日	5.6	5.0	0.6
	成熟期	5.6	4.9	0.7
	着莢数 (莢/株)	8月20日	77.4	73.2
9月20日		81.5	69.4	12.1
成熟期		81.5	69.3	12.2
一莢内粒数(粒)	1.67	1.80	△0.13	
子実重(kg/10a) ⁴⁾	418	368	50	
百粒重(g) ⁴⁾	41.1	37.4	3.7	
屑粒率(%)	12.7	1.6	11.1	
品質(検査等級) ⁵⁾	規格外	2中		
子実重対平年比(%)	114	100	14	

備考1) 平年値は、前7か年中、平成26年(豊作年)及び28年(凶作年)を除く5年平均である。

- 2) △は、平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。
- 3) 間引き直前に調査した値。
- 4) 水分含量15%に換算した値。
- 5) 農産物検査による等級。2等・3等は上・中・下に分けた。

耕種概要

一区面積(m ²)	区制	前作物	畦幅(cm)	株間(cm)	1株本数	株数(株/10a)	播種日(月日)	種子処理
16.8	3	赤クローバー	60	20	2	8,333	5.20	クルーザーMAXX
施肥量(kg/10a)								
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他			
1.8	15.0	7.8	3.0	なし	なし			

令和2年度 十勝農試定期作況報告 小豆

月	作況	事由
6月20日	やや良	播種期は平年より3日早い5月22日であった。播種後に降雨があり、高温に経過したことから、出芽はおおむね順調で、出芽期は平年より4日早い6月4日であった。出芽後も高温多照で経過したことから、主茎長及び本葉数は平年を上回っている。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
7月20日	平年並	6月下旬及び7月中旬が低温寡照に経過したことから、生育はやや停滞した。分枝数は平年を上回っているが、主茎長及び本葉数はおおむね平年並である。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
8月20日	やや不良	6月下旬以降生育が停滞したことから、開花始は平年より2日早い程度にとどまった。分枝数は平年を上回っているが、7月中旬以降の少雨により、主茎長、本葉数及び着莢数は平年を下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
9月20日	不良	8月の高温多照により、成熟期は「きたろまん」で平年より14日早い9月3日、「エリモショウズ」で平年より10日早い9月8日であった。分枝数は平年を上回っているが、主茎長及び着莢数は平年を大きく下回っている。 以上のことから、現在の作況は不良である。
10月20日	不良	一莢内粒数及び百粒重は平年並であったが、着莢数が平年を大きく下回ったことから、子実重は「きたろまん」で平年比79%の303kg/10a、「エリモショウズ」で平年比71%の257kg/10aと平年を大きく下回った。屑粒率は平年より高かった。 以上のことから、現在の作況は不良である。
11月20日	不良	播種期は平年より3日早く、出芽はおおむね順調で、出芽期は平年より4日早かった。6月下旬及び7月中旬が低温寡照で経過し、生育が停滞したことから、開花始は平年より2日早い程度にとどまった。7月中旬から8月中旬の開花期前後が少雨で干ばつ傾向であったため、生育が抑制され、主茎長は平年を大きく下回った。8月中下旬の高温多照により登熟が促進されたことから、成熟期は平年より10～14日早かった。一莢内粒数及び百粒重は平年並であったが、着莢数が平年を大きく下回ったことから、子実重の平年比は71%～79%と低収であった。屑粒率は平年より高く、検査等級は平年より劣った。 以上のことから、本年の作況は不良である。

生育データ

項目/年次	きたろまん			エリモショウズ			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月日)	5.22	5.25	△ 3	5.22	5.25	△ 3	
出芽期(月日)	6.4	6.8	△ 4	6.4	6.8	△ 4	
開花始(月日)	7.21	7.23	△ 2	7.22	7.24	△ 2	
成熟期(月日)	9.3	9.17	△ 14	9.8	9.18	△ 10	
主茎長 (cm)	6月20日	7.4	4.3	3.1	8.5	4.6	3.9
	7月20日	21.7	22.4	△ 0.7	25.7	23.8	1.9
	8月20日	50.4	74.8	△ 24.4	63.3	77.7	△ 14.4
	9月20日	-	84.9	-	-	84.8	-
	成熟期	50.6	85.2	△ 34.6	67.7	85.1	△ 17.4
本葉数 (枚)	6月20日	1.6	0.8	0.8	1.5	0.8	0.7
	7月20日	7.1	7.2	△ 0.1	7.2	7.5	△ 0.3
	8月20日	9.6	13.1	△ 3.5	11.5	14.3	△ 2.8
主茎節数 (節)	9月20日	-	14.9	-	-	15.6	-
	成熟期	13.0	14.8	△ 1.8	15.3	15.4	△ 0.1
分枝数 (本/株)	7月20日	4.5	3.9	0.6	6.0	3.6	2.4
	8月20日	5.2	4.2	1.0	7.4	4.6	2.8
	9月20日	-	3.8	-	-	3.7	-
	成熟期	4.2	3.8	0.4	5.4	3.7	1.7
着莢数 (莢/株)	8月20日	49.9	61.1	△ 11.2	58.1	65.7	△ 7.6
	9月20日	-	52.7	-	-	55.7	-
	成熟期	40.5	52.5	△ 12.0	41.5	56.0	△ 14.5
一莢内粒数(粒)	5.90	5.91	△ 0.01	5.60	5.98	△ 0.38	
総重(kg/10a)	552	625	△ 73	632	635	△ 3	
子実重(kg/10a)	303	384	△ 81	257	363	△ 106	
百粒重(g)	16.5	16.1	0.4	14.3	14.1	0.2	
屑粒率(%)	8.5	3.9	4.6	10.9	3.8	7.1	
品質(検査等級)	4上	3中	-	4下	3中	-	
子実重対平年比(%)	79	100	△ 21	71	100	△ 29	

- 備考 1) 平年値は、前7か年中、平成27年(豊作年)及び30年(凶作年)を除く5か年平均である。
 2) △は平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。
 3) 着莢数は、8月20日現在は莢長3cm以上、9月20日現在及び成熟期は稔実莢を示す。
 4) 品質(検査等級)は旧農産物規格規定(一般小豆の規格その1(素俵))に準ずるものである。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株本数	株数 (株/10a)	播種日 (月日)
12.0	3	アカローハ	60	20	2	8,333	5.22
施肥量 (kg/10a)							
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他		
4	20	11.2	4	なし	なし		

令和2年度 十勝農試定期作況報告 菜豆

月	作況	事由
6月20日	平年並	播種期は平年より2日早い5月26日であった。播種前後の降水が少なかったため出芽はばらついたが、気温が高めに経過したため、出芽期は平年より3~4日早かった。その後も降水量が少なかったため草丈は平年並~やや短い、高温多照に経過したことから葉数は平年よりやや多い。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
7月20日	平年並	6月下旬の低温寡照で生育は一時停滞したが、7月上旬の天候回復により、開花始は平年より1~2日早かった。草丈は手亡類で平年を上回り、やや徒長気味であるが、金時類はほぼ平年並である。葉数・分枝数は、各品種ともほぼ平年並である。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
8月20日	平年並	8月上・中旬の高温により、手亡類、金時類とも登熟が進んでいる。平年と比べて、草丈は手亡類でやや高く、金時類でやや低い。いずれも分枝数は少ないが、葉数、着莢数はほぼ平年並である。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
9月20日	不良	8月が高温多照に経過したため、成熟期は平年と比べて金時類で8~12日、手亡類で15日早まった。着莢数はやや多く、一莢内粒数はほぼ平年並であったが、成熟期が早まり登熟期間が短くなった影響で、百粒重が平年より軽く、子実重は平年比85~92%と低収であった。屑粒率は平年並~少なかった。 以上のことから、現在の作況は不良である。
11月20日	不良	播種期は平年より2日早く、出芽期は3~4日早かった。6月下旬の低温寡照で生育は一時停滞したが、概ね平年並の生育で経過し、開花始は平年より1~2日早かった。8月以降の高温多照傾向により、登熟期間が短縮し、成熟期は平年より金時類で8~12日、手亡類で15日早まった。 金時類、手亡類とも着莢数はやや多く、一莢内粒数はほぼ平年並であったが、登熟期間が大幅に短縮した影響で、百粒重が平年より軽くなり、子実重は平年比85~92%と低収であった。屑粒率は平年よりやや少なかったが、金時類では被害粒とはならない程度の色流れ粒などが発生し、手亡類でも肥大不足による未熟粒がやや多く、検査等級はいずれも平年を下回った。 以上のことから、本年の作況は不良である。

生育データ

品種名	雪 手 亡			大 正 金 時			福 勝			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
項目/年次										
播種期(月日)	5.26	5.28	△ 2	5.26	5.28	△ 2	5.26	5.28	△ 2	
出芽期(月日)	6.4	6.7	△ 3	6.5	6.9	△ 4	6.6	6.10	△ 4	
開花始(月日)	7.17	7.19	△ 2	7.11	7.12	△ 1	7.12	7.13	△ 1	
成熟期(月日)	8.31	9.15	△ 15	8.23	8.31	△ 8	8.25	9.6	△ 12	
草丈 (cm)	6月20日	7.2	7.0	0.2	9.2	10.0	△ 0.8	8.6	9.6	△ 1.0
	7月20日	64.0	52.1	11.9	49.3	47.5	1.8	48.7	47.4	1.3
	8月20日	71.7	67.0	4.7	47.0	50.3	△ 3.3	49.3	54.0	△ 4.7
	9月20日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成熟期	68.0	64.0	4.0	48.3	48.9	△ 0.6	52.7	51.9	0.8
葉数 (枚)	6月20日	1.3	0.9	0.4	1.1	0.7	0.4	1.1	0.9	0.2
	7月20日	6.7	6.6	0.1	4.2	3.7	0.5	4.3	3.9	0.4
	8月20日	7.4	7.3	0.1	3.9	3.9	0.0	4.7	4.0	0.7
	9月20日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
主莖節数 (節)	成熟期	9.3	8.9	0.4	6.2	5.8	0.4	6.1	5.9	0.2
分枝数 (本/株)	7月20日	8.0	7.3	0.7	7.2	7.0	0.2	6.0	6.4	△ 0.4
	8月20日	6.6	8.7	△ 2.1	4.8	6.7	△ 1.9	4.4	6.5	△ 2.1
	9月20日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成熟期	8.6	7.2	1.4	6.3	5.9	0.4	5.8	5.5	0.3
着莢数 (莢/株)	8月20日	30.8	32.5	△ 1.7	18.3	17.5	0.8	16.2	17.6	△ 1.4
	9月20日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成熟期	30.8	28.5	2.3	18.6	16.9	1.7	17.2	15.8	1.4
一莢内粒数(粒)	4.58	4.20	0.38	2.53	2.72	△ 0.19	2.51	2.54	△ 0.03	
総重(kg/10a)	589	658	△ 69	474	476	△ 2	505	534	△ 29	
子実重(kg/10a)	322	349	△ 27	216	239	△ 23	233	275	△ 42	
百粒重(g)	31.0	35.0	△ 4.0	62.0	64.6	△ 2.6	71.5	82.1	△ 10.6	
屑粒率(%)	6.0	6.9	△ 0.9	16.3	17.8	△ 1.5	8.8	17.6	△ 8.8	
品質(検査等級)	2下	2中		4中	3中		3下	3上		
子実重対平年比(%)	92	100	△ 8	90	100	△ 10	85	100	△ 15	

- 備考 1) 平年値は、前7か年中、平成26年(豊作年)及び28年(凶作年)を除く5か年平均である。
 ただし、9月20日の各調査項目の平年値は、年次により成熟期後となるため算出していない。
 2) △は平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。
 3) 屑粒は、病害粒、変色粒(色流れ)、未熟粒等を含む。
 4) 品質(検査等級)は、旧農産物規格規定(普通いんげんの規格その1(素俵))に準ずるものである。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株本数	株数 (株/10a)	播種日 (月日)
12	3	アカローハ	60	20	2	8,333	5.27
施肥量(kg/10a)							
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他		
4	20	11.2	4	なし	なし		

令和2年度 十勝農試 定期作況報告 ばれいしょ

月	作況	事由
6月20日	やや不良	植付期は5月12日と平年より3日遅く、本年より植付後の早期培土栽培に変更したことから、萌芽期は平年より6～8日遅かった。萌芽後は、降水量が少なく経過したことから、茎長は平年を下回っている。茎数は、「男爵薯」が平年並で、「トヨシロ」「コナフブキ」は平年をやや下回っている。以上のことから、現在の作況はやや不良である。
7月20日	不良	干ばつ傾向は解消し、開花始は平年並から2日遅れまで回復した。しかし、6月下旬の日照時間が少なかつたことから地上部は徒長しており、茎長は平年よりかなり長い。また、「男爵薯」、「コナフブキ」では、7月上旬に地上部の倒伏が発生した。このため、塊茎の初期肥大はかなり遅れ、上いも重は平年比48～75%である。以上のことから、現在の作況は不良である。
8月20日	不良	前月に引き続き、茎長は平年よりかなり長い。上いも重は平年比81～87%で、でん粉価は平年並である。以上のことから、現在の作況は不良である。
9月20日	不良	8月上旬～中旬の高温により茎葉黄変は平年より早く進み、枯ちよう期は平年より1～4日早かった。「男爵薯」では上いも数は平年並であったが、上いもの平均重が軽く、上いも重は平年比88%と低収であった。「トヨシロ」および「コナフブキ」では上いも数が平年よりかなり少なく、上いもの平均重が重かったが、「トヨシロ」の上いも重は平年比94%、「コナフブキ」の上いも重・でん粉重は平年比91%・87%と低収であった。以上のことから、現在の作況は不良である。
11月20日	不良	植付期は平年より3日遅い5月12日であった。6月中旬まで降水量が少なかつたため、6月の茎長は平年より短かつた。6月下旬の寡照により地上部は徒長し、7月の茎長は平年より長かつた一方で、塊茎の初期肥大はかなり遅れた。8月上旬～中旬の高温により枯ちよう期は平年より1～4日早かつた。上いも数は「男爵薯」が平年並で、「トヨシロ」「コナフブキ」は平年よりかなり少かつた。上いもの平均重は「男爵薯」は平年より軽く、「トヨシロ」「コナフブキ」は平年より重かつた。上いも重の平年比は「男爵薯」で88%、「トヨシロ」で94%、「コナフブキ」で91%であった。でん粉価はほぼ平年並で、「コナフブキ」のでん粉重は平年比87%であった。以上のことから、本年の作況は不良である。

生育データ

品種名	男爵薯			トヨシロ			コナフブキ			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
項目/年次										
植付期(月日)	5.12	5.9	3	5.12	5.9	3	5.12	5.9	3	
萌芽期(月日)	6.4	5.27	8	6.4	5.29	6	6.3	5.28	6	
開花始(月日)	6.29	6.27	2	6.30	6.30	0	6.27	6.27	0	
枯凋期(月日)	8.22	8.26	△4	8.27	8.29	△2	9.15	9.16	△1	
茎長 (cm)	6月20日	16.8	26.4	△9.6	14.4	21.6	△7.2	20.7	30.0	△9.3
	7月20日	63.0	50.7	12.3	74.3	64.2	10.1	86.5	75.8	10.7
	8月20日	63.3	51.6	11.7	75.9	65.5	10.4	90.6	81.4	9.2
茎数 (本/株)	6月20日	4.4	4.3	0.1	2.7	3.1	△0.4	3.3	3.8	△0.5
	7月20日	4.6	4.4	0.2	2.8	3.4	△0.6	3.3	4.7	△1.4
7月20日	上いも重(kg/10a)	1,178	2,480	△1,302	1,863	2,694	△831	1,578	2,107	△529
8月20日	上いも重(kg/10a)	3,405	4,192	△787	3,639	4,345	△706	3,529	4,064	△535
	同上平年比(%)	81	100	△19	84	100	△16	87	100	△13
	でん粉価(%)	15.0	15.5	△0.5	17.3	16.6	0.7	20.9	21.7	△0.8
収穫期	上いも数(個/株)	11.3	11.5	△0.2	8.4	10.5	△2.1	7.5	11.6	△4.1
	上いもの平均重(g)	72	81	△9	105	92	13	121	87	34
	上いも重(kg/10a)	3,607	4,101	△494	3,968	4,234	△266	4,027	4,437	△410
	中以上いも重(kg/10a)	2,668	3,431	△763	3,878	3,732	146	—	—	—
	でん粉価(%)	15.2	15.2	0.0	17.2	16.0	1.2	20.4	21.3	△0.9
	でん粉重(kg/10a)	511	578	△67	636	633	3	781	901	△120
平年比 (%)	上いも重	88	100	△12	94	100	△6	91	100	△9
	でん粉重	88	100	△12	100	100	0	87	100	△13

備考) 1)平年値は、前7か年中、平成29年(豊作年)及び平成27年(凶作年)を除く5年平均である。

2)△は平年より早、少、短、軽、低を表す。

耕種概要

一区面積 (m ²)	区制	前作物	畦幅(cm)	株間(cm)	株数 (株/10a)	植付日 (月日)
18	3	えん麦 野生種	75	30	4,444	5.12
施肥量 (kg/10a)						
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他	
8	20	14	5	なし	なし	

令和2年度十勝農試定期作況報告 てんさい

月	作況	事由
5月20日	やや不良	移植期は5月1日で平年より6日遅かった。活着は順調であったが、5月中旬は干ばつとなり、平年に比べ草丈はやや短く、生葉数はやや少ない。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
6月20日	不良	5月下旬から6月中旬まで平年より降水量が少なく、干ばつ傾向で推移したため、平年に比べ草丈はかなり短く、生葉数はやや少ない。 以上のことから、現在の作況は不良である。
7月20日	不良	6月下旬から7月上旬に適度な降雨があり、地上部の生育は回復した。このため草丈は平年よりやや短く、生葉数は平年並である。一方、6月下旬の低温・寡照により根部の肥大は遅れており、根重は平年比72%とかなり軽い。 以上のことから、現在の作況は不良である。
8月20日	不良	7月下旬から8月中旬は少雨で、さらに8月中旬の高温で干ばつとなったため、草丈は平年よりやや短く、生葉数は少ない。前月に引き続き根部の肥大は遅れており、根重は平年比80%とかなり軽い。 以上のことから、現在の作況は不良である。
9月20日	平年並	先月から引き続き、平年に比べて草丈は低く、生葉数は少ない。一方、8月下旬から9月上旬は気温が高めで、8月下旬と9月中旬は多雨であったため根部の肥大が進み、根重は平年比104%とやや重い。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
10月20日	やや不良	根重は平年比97%、茎葉重は同比62%で、T/R比は平年より0.25小さい。糖分は平年比100%で、糖量は同比97%である。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
11月20日	やや不良	移植期は5月1日で、平年より6日遅かった。5月中旬から6月中旬にかけての干ばつにより草丈、葉数は平年より劣って推移し、根重は8月まで平年より軽かった。8月下旬から9月上旬は気温が高めで、8月下旬と9月中旬は多雨であったため根部の肥大が進んだ。収穫は平年より1日遅い10月19日に行った。茎葉重は平年比62%、根重は同比97%、根中糖分は同比100%、糖量は同比97%で、やや低収となった。 以上のことから、本年の作況はやや不良である。

生育データ

品種名		リック		
項目/年次	本年	平年	比較	
播種期(月日)	3.16	3.17	△ 1	
発芽期(月日)	3.24	3.25	△ 1	
移植期(月日)	5.1	4.25	6	
収穫期(月日)	10.19	10.18	1	
草丈 (cm)	5月20日	5.5	7.4	△ 1.9
	6月20日	24.0	44.0	△ 20.0
	7月20日	59.9	63.9	△ 4.0
	8月20日	65.3	68.9	△ 3.6
	9月20日	58.6	69.5	△ 10.9
生葉数 (枚)	5月20日	4.5	6.0	△ 1.5
	6月20日	12.9	15.5	△ 2.6
	7月20日	21.5	21.6	△ 0.1
	8月20日	18.5	23.8	△ 5.3
	9月20日	19.2	28.9	△ 9.7
根重 (kg/10a)	7月20日	1,816	2,535	△ 719
	8月20日	4,370	5,435	△ 1065
	9月20日	7,273	7,014	259
	10月20日	7,306	7,548	△ 242
茎葉重(kg/10a)	3,153	5,124	△ 1971	
根重(kg/10a)	7,306	7,548	△ 242	
根中糖分(%)	16.55	16.48	0.07	
糖量(kg/10a)	1,207	1,242	△ 35	
T/R比	0.43	0.68	△ 0.25	
平年比(%)	茎葉重	62	100	△ 38
	根重	97	100	△ 3
	根中糖分	100	100	0
	糖量	97	100	△ 3

備考) 1)平年値は前7か年中、平成29年(豊作年)及び28年(凶作年)を除く5年平均である。
2)△は平年より早、少、短、軽、低を表す。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅	株間	株数
			(cm)	(cm)	(株/10a)
42.8	3	緑肥 えん麦	60	23.8	7,003

施肥量(kg/10a)						
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	B ₂ O ₅	堆肥	その他
15	21.3	13.8	5.0	0.38	3000	なし